

予算審査特別委員会での審査状況

平成19年度予算
一般・特別・企業会計

総額 **734億7,412万円**

平成19年度一般会計及び各特別会計並びに各企業会計予算を審査する特別委員会（議員全員で構成）は、3月14日、15日の2日間にわたり開かれ、市当局と議員との活発な質疑・応答を経て、いずれも原案どおり可決されました。

委員会で議論された内容は次のとおり。

一般会計の主な質疑

総務費

質疑 徴税に係る督促状の文章表現が、非常に威圧的であり、びつくりするような文言であると、新聞報道されたが、その見解を伺いたい。

答弁 徴税については、督促の後に催告を出し、さらに差し押さえ予告、そして差し押さえ処分という段階を踏んでいる。

督促段階では、新聞報道にあったような差し押さえ処分まで含めた形の記載はしていない。

質疑 自動電話催告システム借上料の内容を伺いたい。

答弁 平成十七年度決算によると、市税の滞納者のうち滞納金額が三十万円未満の対象者が全体の七八%を占めている。この滞納の主な原因は収め忘れによるものと考える。この収め忘れの防止には、電話による催促が非常に有効な手段であることと、早期に電話催告をすることで新たな滞納者を抑制するという効果も見

込まれることから、十九年度から導入することにしたものである。

具体的な内容は、通常の電話とは異なり、職員及び嘱託徴収職員が頭にヘッドフォンタイプのマイクを装着し、あらかじめ滞納状況や電話番号が登録されているパソコンの画面に向かいマウスでクリックすることで、自動的に相手の方と電話がつながり、相手が電話に出た時点で滞納状況を説明し、納付を促すとともにその内容を入力し、記録するというシステムである。



予算審査特別委員会から

民生費

質疑 子育て成奨励金は、

廃止しないで対象を拡大するような方向で子育て支援をすべきと思うが、今後、どのようになるか伺いたい。

答弁 この奨励金は合併時において、旧十和田湖町において認定された児童の父及び母に対して、合併後も旧十和田湖町に在住し、要件を満たすものについては引き続き事業を継続しているものである。これは平成十六年に生まれた児童が中学校入学するまでとなるため、平成二十九年度の四月に中学入学祝い金をもってこの事業は終了となる。

質疑 障害者の訪問入浴サービス事業について、本人の希望もあると思うが、どの程度行おうとしているものか伺いたい。

答弁 おおむね週二回以上の利用を提供していきたいと考えている。

質疑 生活保護について、当市の場合の相談、受理、支給等の件数を伺いたい。

答弁 平成十七年度では、相談件数百二十二件、そのうち申請に至ったものが五十一件、さらにそのうち生活保護開始になったものが四十五件となっている。

《一般会計・歳出の主な内容》

1 人と自然が共生する 「しぜん感動・創造都市」

- 鉄道の緊急保全整備事業 2,200 万円
- 生活交通路線の維持対策事業 4,087 万円
- 官庁街通り野外芸術文化ゾーン整備事業 11 億 6,098 万円
- 高森山総合運動公園の整備事業 4 億 9,958 万円

2 豊かな心をはぐくむ 「こころ感動・創造都市」

- 西小学校建設事業 5,214 万円
- アシスタントティーチャー派遣事業 302 万円
- 放課後子どもプラン事業 335 万円

3 安心・安全を支える 「くらし感動・創造都市」

- 消防団活動基盤の整備事業 2,407 万円
- 新市移動系防災行政無線整備事業 9,876 万円
- 十和田湖保育園改築事業 1 億 3,900 万円
- 除細動器整備事業 224 万円

4 にぎわいと活力あふれる 「しごと感動・創造都市」

- 商店街活性化事業 267 万円
- 産学官連携事業 300 万円
- 「月がとっても青いから」カラオケコンクールへの助成 50 万円

5 いきいきと活躍できる 「しみん感動・創造都市」

- しみん活躍プロジェクト実践事業 38 万円
- 「(仮称) 教育・福祉総合プラザ」基本計画策定事業 218 万円
- 小学生交流事業 334 万円
- いきいきまちづくり活動推進事業 57 万円

6 行財政改革及び広域行政の推進

- 水道事業基本計画策定 2,000 万円
- 選挙に要する経費 9,909 万円